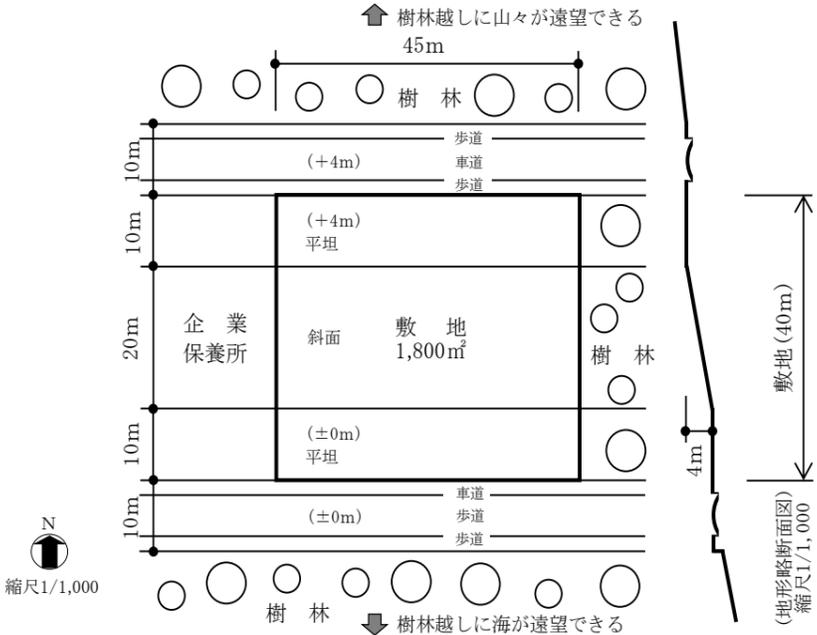


I. 設計条件

この課題は、高原のリゾート地域に建つリゾートホテルを計画するものである。本施設は、滞在期間中の余暇活動を楽しむ拠点となる宿泊施設であるとともに、豊かな自然を満喫することで心身をリフレッシュする場でもある。
 また、建築物内の空間構成においては、敷地が斜面地であることを有効に活かした計画とするとともに、高齢者、障害者等の利用に配慮した室内空間、外部空間を計画するため、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の「建築物移動等円滑化基準」を適用するものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所あたり6mまでできるものとする。
- 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、景観保全のため建築物に関して次の制限がある。
 - 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
 - 主要な屋根は、2/10以上の勾配屋根とする。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。また、井水の利用が可能な地域とする。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。また、敷地の造成は、敷地内の傾斜を有効に利用するため、最小限にとどめるものとする。
- 気候は温暖であり、地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
 構造種別は自由とし、地上2階、地下1階建ての1棟の建築物とする。
 この課題においての階の取り扱いは、北側の前面道路の路面の中心の高さに直近の階を地上1階とする。
- 床面積の合計
 床面積の合計は、1,800㎡以上、2,200㎡以下とする。
 この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段及びエレベーターシャフトは、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
 下表の室は、全て計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
宿泊部門	ツインルーム	・6室(約30㎡/1室)計画する。 ・バス、トイレ付きとし、シングルベッド、テーブル、ソファ等設ける。	計約180㎡
	スイートルーム	・5室(約50㎡/1室)計画する。 ・「ベッドスペース(ツイン)」、「リビングスペース」、「畳スペース(6畳)」を設ける。 ・バス、トイレ付きとし、シングルベッド、テーブル、ソファ等設ける。	計約250㎡
	バリアフリールーム	・車椅子使用者の利用に配慮したツインルームとする。 ・バス、トイレ付きとし、シングルベッド、テーブル、椅子等設ける。	約40㎡
共用部門	エントランスロビー	・「風除室」を設ける。	
	レストラン	・屋内で40人程度が利用できるようにする。 ・屋外テラスと一体的に利用できるようにする。 ・テーブル、椅子等設ける。 ・「厨房」、「食品庫(約15㎡)」を設ける。 ・宿泊客以外の利用客も利用できるものとする。	適宜
	ラウンジ	・バーカウンターを設ける。 ・テーブル、椅子等設ける。 ・眺望に配慮する。	約80㎡
	パーティールーム	・各種パーティー、セミナー等に利用する。 ・室の辺長比は2.0以下とし、無柱空間とする。 ・天井高は、3.5m以上とする。 ・宿泊客以外の利用客も利用できるものとする。	120㎡以上
	配膳室	・パーティールームに隣接させる。	約20㎡
	浴室	・男性用、女性用として、それぞれ10人程度が同時に利用できるようにする。 ・「脱衣室」に洗面コーナー、便所を設ける。 ・眺望に配慮する。	適宜
	売店	・レジカウンター、「倉庫」を設ける。	約50㎡
管理部門	フロント	・カウンターを設ける。	
	事務室	・6人分の事務スペースを確保する。	
	クローク		
	従業員室	・男性用、女性用として、それぞれ各1室設ける。	適宜
	荷解き室	・サービス用駐車場からの搬出入に配慮する。	
	設備スペース	・空調、給排水衛生、電気、消火設備等の「機械室」又は「設備スペース」を、屋内又は屋外に計画する。	
・便所、エレベーター、通用口、倉庫、リネン庫及びゴミ置場については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室、什器等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- 「屋外テラス」は、レストランと一体的に利用できるようにして、敷地内の地上に計画する。まとまったスペースとして50㎡以上を確保して、テーブル、椅子等を設ける。
- マイクロバス等の送迎用車両が利用する「車回し」、「車寄せ」等を、車両動線及び利用客の動線に配慮して適切に設ける。
- 敷地内の「駐車場」は、地上に平面駐車とし、マイクロバス用として1台分、利用客用として5台分、車椅子使用者用として1台分、サービス用として2台分を設ける。なお、その他の利用客用及び従業員用の駐車場は、近隣の駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (1)～(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 敷地の周辺環境に配慮する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
 - 各部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性に配慮する。
 - 斜面地を考慮した基礎構造、構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画するとともに、必要に応じて、「耐力壁」等を設ける。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設ける。
 - 太陽熱、地中熱、井水、植栽等を利用するなどし、環境負荷低減に配慮する。
 - 自然採光及び自然換気を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。(※答案用紙Ⅰは、A2サイズの5mm方眼用紙)

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。
 なお、各図面には、必要に応じ、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 兼 北側配置図 1/200	① 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積等の計算に必要な程度)ロ. 室名等(ツインルーム、スイートルームの表示は、ト、チによる。)ハ. 要求室の床面積 ニ. 設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース ヘ. 断面図の切断位置 ト. ツインルームの室名(T1～T6と表示する。)チ. スイートルームの室名(S1～S5と表示する。)
(2) 地下1階平面図 兼 南側配置図 1/200	リ. 代表的なツインルーム、スイートルーム及びバリアフリールームの室内プラン ス. 要求室の特記事項に記載されている室、スペース、什器等ル. 直下階の屋根、ひさし等となる部分
(3) 2階平面図 1/200	② 1階平面図兼北側配置図及び地下1階平面図兼南側配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 1階平面図は、敷地の北側の配置図を兼ねるものとする。 ロ. 地下1階平面図は、敷地の南側(上記イ以外の部分)の配置図を兼ねるものとする。 ハ. 敷地の高低差(南側前面道路の路面の中心の高さを±0mとする。)ニ. 建築物の出入口 ホ. 屋外テラスの面積、テーブル、椅子等 ヘ. 車回し、車寄せ等 ト. 駐車場(台数及び出入口を明示する。)チ. 通路、植栽等
(4) 断面図 1/200	③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も近い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離 ロ. 2階の屋根の形状(軒先、棟等を一点鎖線で図示する。)
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、南北方向とし、建築物の全体の立体構成及び勾配屋根の形状がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 南側前面道路(±0m)からの塔屋を除く建築物の高さ(平均GLは求めなくてよい)、階高、天井高、地下1階・地上1階の床高、主要な室名及び屋根の勾配を記入する。 ③ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入) ※算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。

- 建築面積を記入し、その算定式も記入する。
- 地下1階、地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 利用客・従業員等のアプローチ及び駐車場、車寄せ等の配置について考慮したこと
 - 宿泊部門のセキュリティ管理及び動線計画について考慮したこと
 - 豊かな空間となるように吹抜けを設けた場所及び空間構成について考慮したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物の地下1階に採用した構造種別、架構形式を記入し、その構造上の特徴及び構造計画について特に考慮したこと
 - 建築物に偏土圧が作用することにおいて、基礎構造及び地下1階の土圧壁について考慮したこと(図等により補足してもよい。)
- 設備計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - パーティールームに採用した空調方式と採用した理由及び吹出口・吸込口の計画について考慮したこと
 - 環境負荷低減のための自然エネルギー等の利用において、空調エネルギーの削減、照明エネルギーの削減及び給湯エネルギーの削減について考慮したこと



答案用紙Ⅰ図面レイアウト

※禁無断転載・複製